

◆クマのすむフナ^{げんせいりん}の原生林



秋の氷ノ山（兵庫県）

クマさんの
すんどりなざる
あの山から、
水もろうて
生きてきた。

クマをはじめとする動物がつくる森は、
雨水をため込む力がばつぐんです。

森からは、清らかで栄養分たっぷりの
水が、一年中こんこんとわき出しています。

この水によって、全生物の命、農業、漁業、
工業、都市の水道が支えられているのです。



ふもとの住民

◆クマの食べ物^{たもの}（ほとんど植物食です）

春



夏



冬



秋



夏から秋にかけて食いだめをして、冬は冬眠に入ります。
メスは冬眠中に子どもを産み、乳をあたえて育てます。

○クマのすむ森^{もり}に入るときは

①クマに出会わないようにしましょう



クマはこわがりで、とてもおくびょうな動物です。
ラジオやすずを持って入ると、
クマの方が先に気づいて逃げて行きます。

②もしクマに出会ってしまったら



クマをやさしく見つめながら、
しずかに、ゆっくりと後ずさりしましょう。
大声を出して、クマをおどろかさないように。
走って逃げると追いかけることがあるので注意。
子グマを連れ帰るのは、保護ではなく誘拐です。

○クマのすむ森^{もり}から帰るときは



ゴミ箱にお弁当の残りなどを捨てると、
そこにクマが出てくることがあります。
すべて持ち帰りましょう。

作成 安部 真理子 《無断転載を禁ず》
第二刷 2012年5月25日 (1,000部)

「日本の森は、クマがいないと森になりません」

—高橋延清 東京大学林学科名誉教授（当時）—

広大な山野を駆けめぐり、木に登って枝を折り実を食べるクマ。
森の中に大きな空間をつくり、風と光を入れます。フンの中の種
子は広い地域にばらまかれ、その地方の植生を一定に保ちます。

クマと

もり

クマのすむ森を

にほんのこ

日本に残すために



山形県で飼われているツキノワグマ 佐藤家のクロちゃん

=クマのすむ豊かな森を次世代へ=

にほんくまもりきょうかい

日本熊森協会



植物+動物=森

〒662-0042 兵庫県西宮市分銅町1-4
TEL: 0798-22-4190 FAX: 0798-22-4196
ホームページ: <http://kumamori.org/>

■ご入会いただける方は、上記までご連絡ください。

クマは・・・

昔 奥山にすんでいました

一人間と動物がすみ分けていたころ—

実のなる広葉樹でいっぱい自然林



奥山（動物）

ブナ・ミズナラ

里山（人+動物）

里（人）

人間が奥山の自然林までこわしたため

今 エサを求めて人里に出てきます

エサがない針葉樹の人工林



スギ・ヒノキ
（材木用に植林）

エサなし

動物による
被害多発

人里に出てきては、殺されるクマたち

絶滅へ・・・

クマのため、人のため、全生物のため、クマ守れ

1992年 中学生 260名が立ち上がる（兵庫県尼崎市）



大きな署名を持って、県知事にクマの保護を訴えた中学生の代表たち

鳥獣問題の根本解決のため

動物たちに山を返そう

奥山のスギ・ヒノキ林 → 実のなる広葉樹に

1997年 日本熊森協会 結成



郡部と都市が力を合わせ、スギを6割伐って間に広葉樹を植えた場所
（植樹2年後 兵庫県宍粟市波賀町 2007）

動物のすめる森再生

—この流れを全国に—

スギ・ヒノキは山の30%まで
持続可能な国内林業の振興

奥山の森が復元するまでの間

1. クマが人里に出てきたら



クマはともにおく病で
こわがりです。
そっと見守る。
夜の外出はひか
えるか、車で。

クマはエサを食べつくしたら来なくなります。
不要なカキはクマに分けてあげましょう。

2. 学校などの近くに出てきたら

ドラム缶オりに
みちびき、クマには
何もせず、エサのある
奥山にはなす。



クマに必要以上の恐怖感を与えると、次に人に会った時、
逃げたい一心で人身事故を起こす恐れがあります。

3. クマが民家のカキの木に来ないように



山の凶作年にそなえて
カキのクマ止め林

山すそに、
昔あった
クマ止め林を
復元する。